

● 町民の広場

人とのふれあいを大切に

中沖校区公民分館女性部長

小野 千洋



「二月は行く、二月は逃げる、三月は去る」も過ぎ、時計の針の動きはいつしよのはずですが、何故か「あつ」という間に四月、満開の桜の枝が風に舞っていたかと思えば春の嵐で散る桜。入学式を前に地を染める桜。柔らかなみどりの葉桜。

三月と四月は別離（旅立ち）と出会うの月でもあります。

我が家にも今年に入り、突然の別離とカウントダウンするかのよう

旅立ちがありました。一月八日に母がくも膜下出血で急死し、これから母に何をしてあげよう。あれもこれもいつしよにしたいと考えていた矢先のことでした。あまりにも突然の出来事で、まだ温もりのある手を握り、母にいつも伝えたかった言葉『ありがとう』を何回も繰り返し、涙した別離でした。後者は娘です。高校を卒業し、大阪の専門学校へ夢いっぱい旅立ちです。昨年十月、専門学校の合格通知と共にカウントダウンの開始でした。

夢に胸弾ませての旅立ち、楽しみ喜びもある反面、離れる淋しさ悲しさもあり、一日一日、その日は容赦なくカウントダウンされていきました。

人生にはいろいろな別離があり悲しむこともあります。私には出会いも多くあります。そのひとつに校区女性部の活動があります。毎月の学習計画に始まり、軽スポーツ・洋裁・押し花・パン作り・ちぎり絵・移動研修・生け花・ゴルフなど多彩な講座に参加し挑戦しています。

各講座は、すべて親切丁寧に指導してもらえますので、もしかしたら新しい自分に出会えるかもしれません。深い知識や認識なんてなくても素直に驚いたり、感心したり、笑ったりする忘れかけていた心の動き、いつしか心が豊かになっていきます。

私はこの講座に参加することで、たくさんの人に出会い、いろいろな経験をし、人生の勉強をさせていたでいています。年齢を増すにつれて出会う機会は少なくなりますが、より多くの方が参加することで時間を共感したいと思います。

これから先、出会いや別離も多くあると思いますが、人とのふれあいを大切に頑張っていきたいと思っています。

議会を傍聴 しませんか!!

議会を傍聴することは、町政を知るとても良い機会です。定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）開催されます。事前に防災無線でもお知らせいたします。どうぞお気軽にお越しください。

次回定例会は6月です。

編集後記

3月定例会は、最終補正予算の他に新年度の当初予算もあり、他の月の定例会に比べボリュームがあります。また、今までになかった新たな条例の制定もありました。有事の事態に備えた「大崎町国民保護協議会条例」や「行財政改革の一環としての「収入役を置かない条例」の制定などがあげられます。

議会だよりでは、議会での出来事を簡明瞭に町民のみなさまにお知らせしたいと思っておりますが、紙面の関係で審議結果だけのお知らせの場合もあります。「収入役を置かない条例」についても、今までは収入役の役割を考えたときに、ただ行財政改革の取組みというだけで廃止していいものか、結果に至るまでにいろいろと審議があったことをご理解ください。また、一般質問においても町長との白熱したやり取りがあります。議会だよりでは、要約したその一部だけしか掲載できませんが、会議録によって、内容を詳しく知ることが出来ます。今までは議会事務局においてのみ閲覧が可能でしたが、町立図書館にも会議録のコピーを設けました。貸出しは出来ませんが、閲覧は出来ますので、どうぞご利用ください。

広報編集委員一同